

## 「肺癌マルチCDx遺伝子解析」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきましては、非小細胞肺癌のT790Mを含むまれなEGFR遺伝子変異の検出が追加承認されました。これにより希少なEGFR遺伝子変異の検出に対して、これまで治療の機会が限られていた症例に対して、最適かつ迅速な治療の選択が可能となります。

当社対応と致しまして、12月2日から適用試薬での測定を実施し、下記期日より追加適用された変異をご報告するため、検査内容を変更させていただきます。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 対象項目／変更内容

#### ● [45711] 肺癌マルチCDx遺伝子解析

変更内容	新	旧
項目コード	45800	45711
検査項目名	肺癌マルチCDx遺伝子解析	肺癌マルチCDx遺伝子解析
報告形態	EGFR Ex19 deletion EGFR L858R EGFR G719X (新設) EGFR L861Q (新設) EGFR S768I (新設) EGFR E709X (新設) EGFR L861R (新設) EGFR T790M (新設) BRAF V600E ALK Fusion ROS1 Fusion	EGFR Ex19 deletion EGFR Ex21 L858R BRAF V600E ALK Fusion ROS1 Fusion

※上記のEGFR遺伝子変異6つを新たにご報告致します。その他検査要項に変更はございません。

なお、[45711]肺癌マルチCDx遺伝子解析につきましては、12月21日(土)をもちまして運用を中止致します。

### 変更期日

#### ● 令和元年12月23日(月)受付日分より

